

淡路支部ニュース

2014.1.25
No.300

兵庫県保険医協会淡路支部
〒656-0051 洲本市物部
3-3-44 松本産婦人科内
TEL 0799-2210073

新年のご挨拶

くらし・医療・福祉支えよう

兵庫県保険医協会淡路支部 支部長 高田 裕



2014年の新春を迎えるにあたり、会員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。
昨年は支部の取り組みとして、患者にも医療者にもメリットのあるIT

化をテーマにした総会で記念講演「診療所のIT化をどうするか」、研究会での「医療機関で知っておきたい医療・福祉・介護の役立つ制度」、会員懇談会では税務を中心にした「一人医療法人の留意点」、「ゼロ税率」についての学習会、臨床談話会でのCOPD対策に
（2面に続く）

Let's...

まずは明けましておめでとうございませう。あわせて寒中お見舞い申し上げます。数年以前より賀状はやめて寒中お見舞い一本とし、加えて島内の先生方には本紙上で、ということでお許しを得ることにさせていただいております。

あいかわらず変な事件が多発、それに合わせるかのようになんかまで変ですね。おかげさまで淡路では格別のこともなく、列挙してみれば、オウム事件の平田被告の裁判員裁判（トックに済んだものと思っていた）、東京都知事公舎の競売（？）、ノロウイルス感染症、名護市長選挙、小野田寛郎氏の死去。TV画面に度々淡路が登場等々。
淡路で1月といえば、阪神・淡路大地震（1・17）だが、年月の風化が感ぜられる。オ

ウム事件でも某記者が「私はあの時小学校3年生でした」と言っていた。以前若い看護婦嬢が「先生方はよく戦争の話をされますが、私など太平洋戦争って全く知りません。元寇の役と同じです」と言われた記憶がある。ここでも伝承の問題がありますね。

一方、最近数日の間に、オリンピックからドーピングの話、変な所から10年前の支部総会の資料が出てきたところへ、昨日ヒョッコリ伊藤偵之先生からFAX頂戴。これも変ですね。

さて、そこで年頭にあたり本年の支部活動は？ 老骨、昨年の地震以来、急速に脚力低下、先日ウエスティンホテルの会合という絶好の機会にも体調不良で欠席という現況。若い諸兄の結集よろしくお願い申し上げます。

【1月19日 松本記】

第30回地域医療を考える懇談会懇談会 in 淡路 病診連携の課題など活発に意見交換



写真上…(左から)講師を務めた県立淡路医療センター診療部長・医療情報部長の久島健久先生、東浦平成病院院長の長屋彰子先生、大橋医院院長の大橋明先生、司会の淡路支部長の高田裕先生



協会地域医療部と淡路支部は、1月12日に夢舞台国際会議場(淡路市)で、第30回地域医療を考える懇談会「淡路島における地域医療連携を考える」を開催、医師・歯科医師や看護師、スタッフなど30人が参加した。(次号詳報)

投稿を募集しています!!

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。地域色豊かな話題を淡路の会員の先生方で交流したいと思います。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。



【FAX】078-393-1802

【E-mail】kusunoki@doc-net.or.jp

淡路支部担当 楠(くすのき)まで



COPD 吸入薬 どう使うか 日常診療勉強会

淡路支部は 12 月 20 日に夢海游(洲本市)で、聖マリアンナ横浜市西部病院副院長の駒瀬裕子先生を講師に、日常診療勉強会「実践 COPD 診療～吸入薬の使い分けは?」を開催、20 人が参加した。

インターネットで保険医協会へアクセス

☆情報満載! 兵庫県保険医協会ホームページ

<http://www.hhk.jp/>

☆会員専用のメーリングリストを開設しております。

登録いただける方は下記までお知らせください。

E-mail : hyogo-hok@doc-net.or.jp



減点事例や算定方法などご相談ください

納得のいかない減点事例や、レセプトの記載、算定方法など、保険請求に関するご相談を受け付けています。困ったことがあれば、悩まずすぐにご連絡を。

お問い合わせは、Tel 078-393-1803
兵庫県保険医協会まで

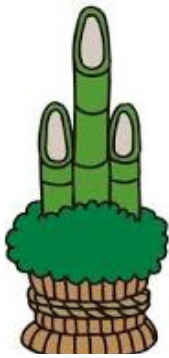


(1面の続き)

における吸入薬の使い方、接遇研修会、医療安全管理研修会、消費税対策の意見交換会など独自の活動も行いました。

今年は、診療報酬改定の年です。消費増税を考慮すると実質1・26%のマイナス改定となり、

マイナス改定は医療の質の低下を招き、現在も続いている医療崩壊を加速させることになります。また高齢者の自己負担の



引き上げや母子家庭等医療費助成の削減は受診抑制を引き起こします。

今後様変わりするであろう急激な保険医療の環境変化に対応できるように、会員の皆様方に最新の情報をお伝えし、医療再建をめざして様々な活動を展開していきたいと思っています。

兵庫県保険医協会淡路支部は、様々な組織・個人と協力しあい、ともに地域医療・保健活動における信頼・絆の核となり、くらしと医療・福祉を支え続ける確かな存在でありたいと考えます。
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

阪神・淡路大震災から 19 年 県下各地で追悼企画

神戸市中央区の諏訪山ビーナスブリッジで、震災犠牲者を悼み市民らが希望の鐘を鳴らした(1月17日)



6434 人の犠牲者を出した阪神・淡路大震災から 1 月 17 日で 19 年が経過した。当日は、犠牲者を追悼するとともに、震災の教訓を伝え、現在の課題を考える催しが県下各地で行われ、大勢の市民が参加した。